

「流域計画・流域管理課題分野」(平成22年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
河川整備基本方針・河川整備計画と都市計画基礎調査・都市計画マスタープランの相互連携策の検討(H22年～H23年)	日本大学 大沢 昌玄	A
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>河川と都市(流域)の効率的な連携を検討する目的として、河川行政と都市行政に対するアンケート調査を実施し、計画・事業段階での連携実態や課題、必要な取組みを把握した。</p> <p>その結果、計画思想の相違、体制面の違いなどが課題とされ、横断的な連携を図る研修・組織の必要性が明らかとなった。また双方共通に議論できる場、図面がないことも課題とされていることから、防災を通じた浸水リスクの見える化(安全を共有する図面)の必要性を提案した。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究では、都市及び河川の政策・施策の連携の実態についての調査を実施し河川行政と都市行政が連携する上での課題を明確にしており、基礎的な研究として現状認識を深める役割を果たしている。以上より研究の目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。</p> <p>示された今後の課題解決方策の提案など本研究の成果を踏まえ、引き続き検討を深めていくことを期待する。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い